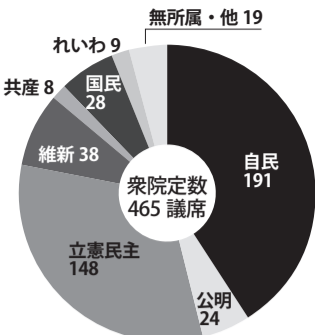




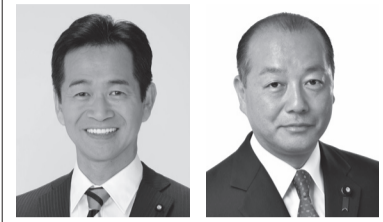
東京ビルメンテナンス政治連盟
 発行責任者 梶山 龍 誠
 〒116-0013
 東京都荒川区西日暮里 5-12-5
 ビルメンテナンス会館
 TEL 03-3805-2950

第50回衆院選 「重点支援候補者」3名が当選

新政権発足直後の解散に伴う第50回衆議院議員総選挙が、10月15日公示、27日投票の日程で実施された。東京ビル政連は「重点支援候補者」4名の支援活動を推進。与党が大きく議席を減らすなか、3名が当選を果たした。



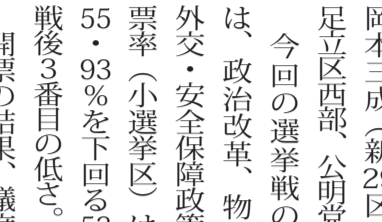
石破茂内閣は10月9日、衆議院を解散。臨時閣議で第50回衆議院議員総選挙の日程が決まり、選挙戦に突入した。石破氏が首相に就任してから8日後の解散、26日後の投票は戦後最短。公示前の議席数は、定数465のうち与党が279(自民党247、公明党32)、野党・その他が186(立憲民主党98、日本維新の会44、共産党10、国民民主党7など)であった。



岡本三成氏
 衆議院議員当選5期、経済産業委員長、元財務副大臣、公明党政務調査会長・東京都本部代表



高木 啓氏
 衆議院議員当選3期、衆議院内閣委員、国土交通委員、北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会理事、元外務大臣政務官



平 将明氏
 衆議院議員当選7期、デジタル大臣、行政改革担当大臣、国家公務員制度担当大臣、内閣府特命担当大臣(規制改革)、サイバー安全保障担当大臣、元内閣府副大臣、ビルメンテナンス議員連盟

ゼロ都債活用などで数々の要望が実現！ 都議会3会派が更なる支援を確約



都議会立憲民主党、竹井ようこ幹事長に要望書を手渡す梶山理事長



都議会公明党、高倉良生副団長に要望書を手渡す梶山理事長



都議会自民党、小松大祐幹事長に要望書を手渡す梶山理事長



梶山龍誠理事長は、「当政治連盟は、高品質な維持管理を適正な価格で行うため日々活動し、業界全体の発展に取り組んでおります。東京都の入札につきましては、先生方のご支援の下、ゼロ都債の活用による入札時期の前倒しや入札参加資格者の社会保険加入の確認等、実現した要望もたくさんございます。私どもといたしましては、公共建築物を適切に維持管理するための環境が、より一層整備されることを期待しているところでございます。引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます」と謝意と期待を表明した。

要望の概要説明は横田英雄幹事長が担当し、初めに「私どもは、公共建築物管理の適正な価格での発注による品質の確保と、ビルメンテナンスの担い手の中長期的な育成促進を基本方針としております。昨年5月、新型コロナウイルスが感染症法上の5類に

移行されましたが、依然として衛生管理には慎重にならざるを得ず、物価高騰、人手不足等を含め、業界を取り巻く環境は非常に厳しい状態です」と、基本方針及び業界の現況を説明。

要望については、「令和5年11月29日に、内閣官房公正取引委員会の連名で『業務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針』が示され、ビルメンテナンス業及び警備業は労務費の割合が高い業種として明記されております。また令和5年8月31日に、総務省から『最低賃金の改定に伴うビルメンテナンス業に関する契約金額の変更について』という通知が発出されております。これらの通知等を踏まえ、契約の適正化が行われることを要望いたします」と述べ、各項目の要点を解説して理解と支援を訴えた。

質疑応答では、総合管理案件、労務単価の見直し、社会的責任調達指針、障害者雇用、エコチューニング、人手不足対策などについて意見を交換。

都議会自由民主党は「ご要望をしっかりと受け止め、対応してまいります」、都議会公明党は「予算編成に向け、しっかりと取り組んでいきたい」と言明。都議会立憲民主党はヒアリング参加に謝意を表明。要望実現へ向け、3会派とも更なる支援を確約した。